

平成 27 年度 (2015)
慶應義塾大学入学試験問題

商 学 部

地 理

- 注 意
1. 受験番号と氏名は、解答用紙 A (マークシート) と解答用紙 B のそれぞれ所定の欄に必ず記入すること。さらに、解答用紙 A (マークシート) の受験番号欄をマークすること。
 2. 解答は、必ず指定された解答用紙の所定の欄に記入ないしマークすること。解答欄外の余白および採点欄には一切記入してはならない。
 3. 解答用紙 A (マークシート) への記入に先立って、用紙上に記載された注意事項を必ず読むこと。
 4. 解答用紙 A (マークシート) の解答欄にマークするときには、すべて HB の黒鉛筆を使用し、また、次の解答例に従うこと。
(解答例)

(12)

 と表示のある問いに対して、3 と解答する場合は、右に示すように解答欄

(12)

 の ③ にマークすること。
なお、2桁の数字の場合には、以下のようにマークすること。
例えば、空欄

(19)

(20)

 の解答が 3 6 の場合、解答欄

(19)

 の ③ にマークし、解答欄

(20)

 の ⑥ にマークする。
 5. 問題用紙は下書きに用いてよろしい。
 6. この冊子の総ページ数は 8 ページである。

(12)

0
1
2
3
4
5
6
7
8
9

試験開始の合図とともに全てのページが揃っているか確認してください。ページが抜けていたり重複するページがあったら直ちに監督者に申し出てください。

《指示があるまで開かないこと》

I. 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

スカンディナヴィア半島の北部は北極圏に位置し、白夜やオーロラなどの現象がみられる地域である。スカンディナヴィア半島の3国（ノルウェー、スウェーデン、フィンランド）のなかで、^(ア)ノルウェーにはかつて、氷河で削られてできた〔(1)〕〔(2)〕字谷に海水が侵入し細長く水深の大きい、景観豊かな^(イ)フィヨルドがある。ちなみにノルウェー最大のフィヨルドは〔(3)〕〔(4)〕フィヨルドである。スカンディナヴィア半島北部には先住少数民族の〔(5)〕〔(6)〕が居住している。

3国はそれぞれ固有の言語をもつ。ノルウェー語、スウェーデン語は〔(7)〕〔(8)〕語族の〔(9)〕〔(10)〕語派に属するが、フィンランド語は〔(11)〕〔(12)〕語族に属している。フィンランド語と同様の語族に属する語としては、東ヨーロッパの〔(13)〕〔(14)〕語がある。3国の宗教はともに〔(15)〕〔(16)〕、また3国のうち王国は〔(17)〕〔(18)〕か国である。

3国の経済に目を移してみよう。^(ウ)EU（ヨーロッパ連合）の歩みのなかで3国は必ずしも足並みをそろえているわけではない。2013年時点で3国のうち〔(19)〕〔(20)〕（国名）はEU非加盟国である。一方EUの単一通貨であるユーロを国の通貨としている国は、同時点で〔(21)〕〔(22)〕（国名）のみである。EU以外にもヨーロッパでは多くの国際組織が形成されている。^(エ)5か国からなる北欧理事会は、限定した地域ではあるが社会・文化的な側面で大きな成果を収めてきた。また、経済活動にエネルギーは欠かせない。たとえば2010年の各国の発電形式をみると、ノルウェーで〔(23)〕〔(24)〕が大きな割合を占め、スウェーデンでは〔(23)〕〔(24)〕と〔(25)〕〔(26)〕が2つの柱となっている。フィンランドでは火力、原子力の割合が比較的大きい。

工業化の進展に伴って、1960年代にはヨーロッパの広い範囲で酸性雨が観測された。その後1972年にはストックホルムで国際会議が開かれ、環境問題を人類に対する脅威にとらえ、国際的に取り組むべきであるとした〔あ〕宣言が採択された。この宣言と国連国際行動計画を実施に移すための国連機関〔い〕が同年設立され、生物の多様性の保全やオゾン層、気候変動、廃棄物など広い分野で活動が行われている。

問1 文中の空欄〔(1)〕〔(2)〕～〔(25)〕〔(26)〕にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄〔(1)〕～〔(26)〕にそれぞれマークしなさい。

《語群》

11 1	12 2	13 3	14 3千	15 4千	16 5千
17 1万	18 2万	19 5万	20 10万	21 20万	22 30万
23 第二紀	24 第三紀	25 第四紀	26 U	27 V	28 W
29 アイルランド	30 アフロ=アジア		31 アルタイ	32 インド=ヨーロッパ	
33 ヴェスト	34 ウラル	35 カール	36 カトリック	37 火力	
38 グリーンランド		39 ゲルマン	40 原子力	41 コーカサス	42 サーミ人
43 シナ=チベット		44 スウェーデン	45 水力	46 スラブ	47 セルビア
48 ソグネ	49 東方正教	50 ドリーネ	51 トロンヘイム	52 ノルウェー	53 バイオマス
54 ハンガリー	55 フィンランド	56 風力	57 ブルガリア	58 ブルトン人	
59 プロテスタント		60 ホルン	61 モレーン	62 ラテン	63 リアス
64 ロマ人	65 ワジ				

問2 下線部(ア)のノルウェーについて、スウェーデン、フィンランドと比較したa～dの4つの記述について正しければ1、間違っていれば2を、それぞれ解答用紙A(マークシート)の解答欄(27)～(30)にマークしなさい。

- a ノルウェーの人口は3国のなかで最も多い(2013年)。→(27)にマーク
- b ノルウェーの首都は3国のなかで最も北に位置する。→(28)にマーク
- c ノルウェーの面積は3国のなかで最も大きい。→(29)にマーク
- d ノルウェーは一人当たりGNI(ドルベース、2011年)が3国のなかで最も高い。→(30)にマーク

問3 下線部(イ)のフィヨルドに関連して、次の文の空欄(31)～(42)にあてはまる語句を問1の選択肢のなかから選び、解答用紙(A)(マークシート)の解答欄(31)～(42)にそれぞれマークしなさい。

約260万年前から現代までの地質時代は(31)～(32)とよばれている。(31)～(32)は寒冷化により氷河が拡大した氷期と、現代のように比較的温暖な間氷期が、およそ(33)～(34)年周期で訪れるという、地球史のなかでも特に気候変化の激しい時代である。最後の氷期はおよそ(35)～(36)年ほど前に最寒冷期を迎え、大陸氷河や山岳氷河が発達した。最終氷期は(37)～(38)年ほど前に幕を閉じ、現在大陸氷河の分布は南極とグリーンランドに限られている。氷河の消えた跡には、氷河の作用により作られた氷河地形がみられる。氷河地形には山頂直下の斜面に形成された椀状のくぼ地の(39)～(40)や、氷河により削られてできた鋭くとがった(41)～(42)などがある。

問4 下線部(ウ)のEUに関連して、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。解答はそれぞれ解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

- (1) EUの基になったヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(ECSC)が1952年に結成された。この組織は6か国から構成された。そのうち、イタリア、旧西ドイツ、フランス以外の3つの国名を全てカタカナで記入しなさい。
- (2) 1993年に発効し、共同体域内の国境管理の廃止、人やものの域内移動を実現させた条約名を地名を用いて記入しなさい。

問5 空欄(あ)に入る適切な語句を漢字4文字で解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問6 空欄(い)に入る組織名の略称をアルファベット大文字4字で解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問7 下線部(エ)について、スカンディナヴィア半島に位置する3国以外の北欧理事会を形成する2国の国名を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

II. 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

インドはユーラシア大陸の南部に位置し、アラビア海、インド洋、(43) (44) といった海洋に面するインド亜大陸のほぼ全域を占める。ヒマラヤ山脈の南側にはガンジス川の沖積平野である (あ) 平原が、インド半島には東西ガーツ山脈に挟まれた (45) (46) が広がる。(45) (46) は、大地形の区分では、ほとんどが (47) (48) である。インドの気候は地域ごとに異なる気候区分となるが、多くの地域の気候の共通点は、6月から10月が (49) (50) にあたることである。日本との時差を見ると、東経82.5度地点を標準とするインド時間は、(い) 時間、日本時間より遅れている。

インドの人口は、2010年現在、中国に次いで世界第2位である。インドでは長期にわたって^(ア)乳児死亡率が低下してきた。現在では、人口増加が続いているインドがいずれ中国を抜いて人口世界第1位になると予測されている。我々が性別・年齢別人口構成のグラフである (う) で両国を比較しても、その予測と整合的な形状がみられる。

インドの住民の8割はヒンドゥー教の信者であるが、2番目に信者が多いのは、(51) (52) 教である。インド社会には、ヒンドゥー教と関連して、カーストとよばれる身分制度があり、これには、職業を世襲し相互補助を行う (え) と、(53) (54) を頂点とする4つの身分からなるヴァルナがある。カーストは差別に結びつくが、憲法では差別の禁止を規定している。

インドは農業国で、2011年現在、米と小麦の生産量は^(イ)中国に次いで世界第2位である。インドではイギリス植民地時代の (55) (56) 制の影響により、土地を持たない農民が多い。1960年代から高収量品種を普及させる (57) (58) とよばれる政策が行われた。この結果、1980年代には食糧自給が可能となった。だが、高収量品種の普及にあたって政府の融資が土地を持った豊かな農民に向けられたため、農民の貧富の差は大きくなった。やがて土地を持たない農民の都市への人口流入が広がった。

鉄鉱に恵まれたインドでは、植民地時代から (59) (60) 財閥によってジャムシェドプルに最初の製鉄所が建設されるなど、製鉄業等が発展した。独立後は、重化学工業などが国家資本によって、自動車工業などが民間資本によって進められた。重工業地域の形成に貢献したのは、アメリカのTVAを模したDVCの設立であった。このDVCは先進国からの援助をもとに、(61) (62) 川流域の総合開発を行ったものである。一方、^(ウ)自動車産業などは国家規制によって保護された。このような政策は、製品の質や生産効率の向上のためには良い影響を与えなかった。

1990年代初めの本格的な経済自由化以降、^(エ)インドではIT産業が発展した。IT産業の拠点の1つ、インド南部の (63) (64) は「インドのシリコンバレー」とよばれるようになった。

^(オ)南アジア7か国は、1985年に、地域協力組織として (65) (66) を発足させ、1995年には域内貿易の促進をはかるための協定を発効させた。

インドは経済政策の転換を進め、工業の発展を目指している。独自の社会と文化で「インド世界」とよばれてきたインドが、先進工業国の仲間入りをする日が遠くないかもしれない。

問1 文中の空欄 (43) (44) ～ (65) (66) にあてはまる最も適当な語句を下の語群から選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の解答欄 (43) ～ (66) にそれぞれマークしなさい。

《語群》

11 ASEAN	12 IRDP	13 RCEP	14 SAARC	15 アンダマン海
16 安定陸塊	17 イスラム	18 インダス平原	19 ヴァイシャ	20 雨季
21 乾季	22 クシャトリア	23 古期造山帯	24 コルカタ	25 ザミンダール
26 シーク	27 シュードラ	28 新期造山帯	29 生産責任	30 大インド砂漠
31 ダウガヴァ	32 タタ	33 ダモダル	34 ダーリング	35 チェンナイ
36 チベット仏	37 デカン高原	38 デリー	39 ハイデラバード	40 バラモン
41 バンガロール	42 仏	43 ベンガル湾	44 マヒンドラ	45 ミタル
46 緑の革命	47 南シナ海	48 ムンバイ	49 モンスーン明け	

問2 下線部 (イ) ではインドと中国の生産量の比較を行っているが、下記の a～c の分類のいずれかに、1～3 の生産量が該当する。解答用紙 A (マークシート) の解答欄 (67) ～ (69) に1～3 の番号をマークしなさい。

- a 下線部 (イ) と同様、中国が世界第1位、インドが世界第2位であるもの → (67) にマーク
 b 下線部 (イ) と同様ではないが、中国がインドの上位にあるもの → (68) にマーク
 c インドが中国の上位にあるもの → (69) にマーク
- バナナの生産 (2011年), 牛乳の生産 (2011年)
 - 石炭の産出 (2010年), 綿糸および綿織物の生産 (2012年)
 - 粗鋼の生産 (2012年), アルミニウムの生産 (2011年)

問3 文中の空欄 あ ～ え にあてはまる最も適当な語句を解答用紙 B の所定の欄に記入しなさい。

問4 下線部 (ア) に関連して、第2次世界大戦後のインドで乳児死亡率を低下させた原因を、解答用紙 B の所定の欄に20字以内で書きなさい。

問5 下線部 (ウ) について、自動車産業に関する国家規制で特徴的な内容を、解答用紙 B の所定の欄に10字以内で書きなさい。

問6 下線部 (エ) について、インドで IT 産業が発展した理由を、人的資源の観点から、解答用紙 B の所定の欄に35字以内で書きなさい。

問7 下線部 (オ) について、南アジア7か国からインドを除いた6か国のうち、国内の最大宗教 (国民の信仰割合が最大である宗教) が下記の a～d である国名を解答用紙 B の所定の欄に記入しなさい。最大宗教が複数国に該当する場合はそのなかで国の面積が最も小さい国名を書くこと。

- a ヒンドゥー教 b チベット仏教 c 仏教 (チベット仏教を除く) d イスラム教

Ⅲ. 次の文章と表に関して、後の設問に答えなさい。

1917年のロシア革命をきっかけに、1922年に^(ア)ソ連が成立した。ソ連では、国家主導で^(イ)計画経済が実施され、重化学工業化や農業集団化が進められた。第2次世界大戦後、ソ連は米国と並び、国際政治上の指導勢力となったが、次第に計画経済に起因する問題を多く抱えるようになった。そこでソ連は、1980年代半ば以降、経済を含め、体制の建て直しをはかるべく改革に取り組んだ。この改革は民主化・自由化政策や情報公開などを含み、 年のバルト3国の独立やソ連解体につながった。これらにより、ソ連を構成していた国々は独立した。また、ゆるやかな国家連合体である^(ウ)CISが結成された。以下の表は、ソ連を構成していた国々(①～⑮)の現在の国名、首都、主な宗教、および主な輸出品目をまとめたものである。

国名	首都	主な宗教	主な輸出品目
①リトアニア	<input type="text" value="(72)"/> <input type="text" value="(73)"/>	キリスト教	石油製品
②ラトビア	<input type="text" value="(74)"/> <input type="text" value="(75)"/>	キリスト教	木材
③エストニア	<input type="text" value="(76)"/> <input type="text" value="(77)"/>	キリスト教	電気機械、石油製品
④ウクライナ	キエフ	東方正教	鉄鋼
⑤ベラルーシ	ミンスク	東方正教	石油製品
⑥モルドバ	キシニョフ	東方正教	野菜と果実、衣類
⑦ <input type="text" value="あ"/>	トビリシ	東方正教	自動車、鉄鋼
⑧ <input type="text" value="い"/>	エレバン	東方正教	銅鉱と銅製品、アルコール飲料
⑨アゼルバイジャン	バクー	<input type="text" value="(78)"/> <input type="text" value="(79)"/>	<input type="text" value="お"/>
⑩キルギス	ピシュケク	イスラム教(スンナ派)	金
⑪ <input type="text" value="う"/>	タシケント	イスラム教(スンナ派)	綿糸
⑫ <input type="text" value="え"/>	アシガバート	イスラム教(スンナ派)	天然ガス
⑬カザフスタン	アスタナ	イスラム教(スンナ派)	<input type="text" value="お"/>
⑭タジキスタン	ドゥシャンベ	<input type="text" value="(80)"/> <input type="text" value="(81)"/>	アルミニウム
⑮ロシア	モスクワ	東方正教	<input type="text" value="お"/> , 石油製品, 天然ガス

上記の表に示された国々のなかで、⑦、⑧、⑨は、^(エ)カフカス山脈の南側にある。カフカス山脈の東側にあるカスピ海は、⑨、⑫、⑬、⑮、および という国々に囲まれた世界最大の湖である。⑪と⑬の国境には、かつては世界で4番目に大きな湖であったが、その後^(オ)湖面の縮小が進んだアラル海がある。また、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬という 系民族が国家の主要構成民族となっている国々は、ECOなどの国際組織を通じて、経済の交流や民族の結束をはかっている。

⑮ロシアは世界最大の国土をもち、おおよそ東は西経 度のウエレンから西は東経 度のカーニングラードにわたり、東西に幅広い。以下では、この広大な国土の一部を、ウラジオストクからモスクワまで、シベリア鉄道に沿って横断してみたい。

地方の南部にあるウラジオストクからシベリア鉄道の列車「ロシア号」に乗って、約12時間が経つと到着するのがハバロフスクである。ハバロフスクはアムール川と 川の合流点にあり、機械製造業や木材加工業などが盛んな極東地域の主要都市である。ハバロフスクを出発してから約50時間、ブリヤート共和国の首都であるウランウデを過ぎて、しばらくすると、バイカル湖が見えてくる。なお、この湖周辺とこの湖から流れ出る 川の上流域には、 炭田やブラーツクの水力発電などを背景にした工業地域が広がる。

バイカル湖付近をしばらく進むと、列車はイルクーツクに到着する。イルクーツクの気候は (98) (99) 気候であり、この地域にはタイガが広がる。イルクーツクを出て、バム鉄道の分岐点であるタイシエト、(100) (101) 川に面するクラスノヤルスクを過ぎると、列車はノヴォシビルスクに到着する。ノヴォシビルスクは、ノヴォクズネツクやケメロヴォなどとともに、クズネツク工業地域を構成する工業都市である。そして、(102) (103) 川に臨むオムスク、ウラル山脈の東麓の大都市である (104) (105) を過ぎて約26時間すると、列車はモスクワに到着する。

問1 文章と表の中の空欄 (70) (71) ～ (104) (105) にあてはまる最も適切な語句を下の語群から選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の解答欄 (70) ～ (105) にそれぞれマークしなさい。

《語群》

11 10	12 20	13 30	14 40	15 50
16 130	17 140	18 150	19 160	20 170
21 1990	22 1991	23 1992	24 1993	25 1994
26 アフガニスタン	27 アラブ	28 アンガラ	29 イスラム教(シーア派)	
30 イスラム教(スンナ派)		31 イラク	32 イラン	33 イルティシ
34 ヴォルガ	35 ウスリー	36 エカテリンブルク		37 エニセイ
38 沿海	39 オビ	40 カウナス	41 カムチャツカ	42 カラガンダ
43 サハリン	44 サマーラ	45 スラブ	46 タリン	47 チェレンホヴォ
48 ツンドラ	49 東方正教	50 ドニエプル	51 ドネツ	52 トマン
53 トムスク	54 トルコ	55 ドン	56 ニジニーノヴゴロド	
57 氷雪	58 ビリニユス	59 仏教	60 ペチョラ	61 マガダン
62 リガ	63 冷帯夏雨	64 冷帯湿潤	65 レナ	

問2 表中の空欄 あ ～ え にあてはまる国名を、解答用紙 B の所定の欄に記入しなさい。

問3 表中の空欄 お には、2011年に、アゼルバイジャン、カザフスタン、およびロシアにおいて、輸出額に占める割合が最も多い輸出品目が入る。その輸出品目を解答用紙 B の所定の欄に記入しなさい。

問4 下線部(ア)ソ連について、略称ではなく正式な日本語名称を解答用紙 B の所定の欄に記入しなさい。

問5 下線部(イ)の計画経済とはどのような経済か、解答用紙 B の所定の欄に35字以内で書きなさい。

問6 下線部(ウ) CIS の本部がある都市名を解答用紙 B の所定の欄に記入しなさい。

問7 下線部(エ)のカフカス山脈における最高峰の山の名称を、解答用紙 B の所定の欄に記入しなさい。

問8 下線部(オ)について、アラル海の湖面の縮小が進んだ理由を、解答用紙 B の所定の欄に25字以内で書きなさい。

〈以下余白〉